

10月23日(土)



に参加してきました。



10月23日(土)滝沢村の産業文化センター「アピオ」で開催された、いわて「めぐみ」フェアに本寺地区のPRのため地域営農部会が中心となり参加してきました。



説明にも熱が入ります

県内外の産地の宣伝や、名産物が一同に会したイベントに初めての参加で不安いっぱいでしたが、世界遺産登録を目指す「骨寺村荘園遺跡」は来場者の関心が非常に高く、また試食に出した「荘園米」も大好評で、今後の地域の特産品づくりに向け、好感触を得ることができました。(地域営農部会)



「荘園米」は引き合い多数

# 増田知事に要望書を提出



・増田寛也 岩手県知事・

・平成の大絵図を用いて説明・

# 「骨寺通信」

第7号

本寺地区地域づくり推進協議会会報  
事務局(会長宅)  
一関市殿美町字若井原  
(電話) 略

骨寺村荘園遺跡の

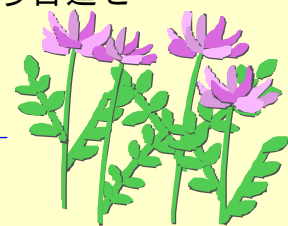
## 「古道を探勝する会」開催

中世の骨寺村荘園遺跡から、平泉に向かう古道を一緒に歩いて見ませんか。

日時 **平成16年11月14日(日)**  
午前9時～12時頃まで

集合場所 **駒形根神社入り口付近**  
参加方法 **直接現地に集合(服装、長靴等各自準備)**

担当 地域おこし部会



本寺地区の活力ある地域づくりを進めよう!

### 増田知事に実情を訴え 支援を要望

去る十月八日(金)本寺地区地域づくり推進協議会の役員が県庁を訪問し、岩手県に対し荘園遺跡と共存した地域づくりへの積極的な支援を求める要望活動を行いました。  
佐藤武雄会長をはじめとする協議会役員八名のほか、佐々木一榮県議会議員、広田純一岩手大学教授にもご同席いただき行われた要望では、骨寺村荘園遺跡がある本寺地区の状況や、世界遺産登録候補となったことに伴う地域の不安や戸惑い、荘園景観を将来まで保全し続けるためのほ場整備の必要性などを増田寛也知事に直接訴えました。そのうえで本寺地区の将来の地域づくりの推進に向け、文化財や農村整備に関連した事業の導入に関し、県に主導的な役割を担っていただくこと、景観保全型ほ場整備にかかる事業費の国県等での全額負担などを盛り込んだ要望書を手渡しました。  
歴史的価値や地域の実情をよく理解していただいた増田知事からは、県の財政事情が厳しいことに触れながらも、本寺地区への精力的な取り組みと、話しをいただきました。

本寺地区の活力ある地域づくりを進めよう!